

# 8部

「在学生の学習実態調査・  
アンケート」のお願い

---

---

## 「在学生の学習実態調査・アンケート」について

---

### 【調査の目的】

授業外学習時間についての調査、および教育課程・学習環境・各種印刷物やサポートの改善点検討の基礎資料にするために実施します。

### 【結果の公表】

個人が特定されない形で統計的に処理をおこない、『With』などに掲載する他、上記【調査の目的】に関連して、適宜、報告・発表する場合があります。

### 【個人情報の利用】

調査は記名式（ただし郵送の場合は記名は任意）で行われますが、個人の特定や、回答者に不利益が生じることはありません。

### 【調査対象】

正科生（休学中の方を除く）

※新入生も含めできるだけ多くの方のご協力をお願いします。

### 【回答期限】

令和元年12月末

### 【回答方法】

①Web（TFUオンデマンド）もしくは②回答用紙（本冊子巻末）のいずれかで回答してください。

※できるかぎり Web（TFUオンデマンド）上での回答にご協力をお願いします。

① Web (TFUオンデマンド) の場合

「TFUオンデマンド」にログイン後、「セミナー」内にある「令和元年学習実態調査」をクリックして開始してください。

② 回答用紙（巻末）の場合

次ページ以降（p. 60～64）の設問について、本冊子巻末の回答用紙に記入していただき、郵送やFAX（送料は本人負担になります）、もしくはスクーリング等で本学に来校時に事務室窓口や職員へ直接お渡しください。

---

## 令和元年度 在学生の学習実態調査・アンケート

---

◆ 以下の問1～5について、回答してください

問1 普段の学習頻度や学習時間についてお聞きします。(※会場スクーリング受講時間は除くものとします。)

① 学習の頻度はだいたいどれくらいですか。一番あてはまる番号を1つ選択してください。

- 1 週5～7日
- 2 週3～4日
- 3 週1～2日
- 4 月に1～3日
- 5 まだ学習に取り組んでいない

② 学習する日の1日の学習時間は平均してどれくらいですか。一番あてはまる番号を1つ選択してください。

- 1 1時間未満
- 2 1時間以上3時間未満
- 3 3時間以上5時間未満
- 4 5時間以上
- 5 まだ学習に取り組んでいない

③ 1単位分のレポート（論述式のもの）が完成するまでに要する平均時間はどれくらいですか。一番あてはまる番号を1つ選択してください。

- 1 30時間以上
- 2 20時間以上30時間未満

- 3 10時間以上20時間未満
- 4 5時間以上10時間未満
- 5 5時間未満
- 6 まだ学習に取り組んでいない

問2 現在の学習への取り組みについてお聞きします。

① 学習にあたって、現在どのようなことに困っていますか。当てはまる番号をすべて選択してください。

- 1 現在は特に困ったことはない
- 2 何から手をつけたら良いかわからない
- 3 学習に取り組む時間が確保できない
- 4 教科書の内容が難しい
- 5 レポートをまとめることが難しい
- 6 やる気がわからない
- 7 やる気を維持することが難しい
- 8 学習に集中できない
- 9 スクーリングへの参加が難しい
- 10 その他（ ）

② 学習への取組みや、やる気を維持するにあたって、どのような支援や制度があればよいと思いますか。当てはまる番号をすべて選択してください。

- 1 特になし
- 2 苦手な学習スキル（例：論理的考え方、文章の書き方、効率的な学習方法）の克服に特化した科目の開設やガイダンスの実施
- 3 教員からのレポート課題についてのよりくわしいアドバイス
- 4 わかりやすい参考図書の紹介
- 5 スクーリング後の学生交流会の実施



- ⑤ 『試験・スクーリング情報ブック』の内容はいかがでしょう。
- 1 適切
  - 2 ほぼ適切
  - 3 やや不十分
  - 4 不十分
  - 5 ほとんど利用していない
- ⑥ 『試験・スクーリング情報ブック』について、わかりにくい点・改善点などを自由にお書きください。
- ⑦ 『With』の内容はいかがでしょう。
- 1 適切
  - 2 ほぼ適切
  - 3 やや不十分
  - 4 不十分
  - 5 ほとんど利用していない
- ⑧ 『With』について、わかりにくい点・改善点などを自由にお書きください。
- ⑨ 各科目の教科書の選択や内容はいかがでしょう。
- 1 適切
  - 2 ほぼ適切
  - 3 科目によりやや不適切
  - 4 科目により不適切
  - 5 ほとんど利用していない
- ⑩ 各科目の教科書の選択や内容について、ご意見があればお書きください。

問4 今後、通信教育部で開講してほしい授業テーマなどがございましたら、ご自由にお書きください。

問5 その他、ご意見・ご要望・改善のご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

## スクーリング・アンケートより(4)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

### ●精神保健福祉援助技術各論 那須 裕悌

- ・テキストに沿って重要点の説明を進めてもらい、頭に入りやすかったです。またグループでのロールプレイも実際の気持ちの動きを感じることができよかったです。
- ・教科書を全てさらってくださったのがよかったです。また、ロールプレイやグループワークでは、メンバー同士で深まりのある話し合いができました。

### ●感情・人格心理学/人格心理学 武村 尊生

- ・人格は人それぞれである。何かの理論に必ず当てはまるものではない。個人個人に適切に応用できるように理解を深めたい。
- ・研究を経てできた分類や理論は、実社会（現実）に当てはめることは困難であるが、人格を理解する上での手段として学ぶことで、さまざまな方向からの見方ができ、今後の生活にも人との関わりを友好的ものとし、よりよい人生にもつなげられるようにしたい。

### ●臨床心理学概論Ⅰ 清水 めぐみ

- ・個人の背景によって心理臨床を施す方法が変わってくるところに奥が深いと感じました。個人に合わせた生き方が問われる時代だからこそ臨床心理学の知識がより求められていると思いました。
- ・フロイトの心の成り立ちや動きについて、リビドーなどこれまでなかなか理解が難しいと感じていたが、先生からさまざまなエピソードと時代背景と一緒に説明していただいたことでスッキリと理解することができました。

### ●学習・言語心理学 柴田 理瑛

- ・内容としては難しかったが1コマごとに振り返りをしていただいたことで、理解が進んだように思う。
- ・古典的条件付けやオペラント条件付けなど、心理学の他科目でも学んだ内容を掘り下げて学ぶことができた。また、用語がたくさんでてきたが、どれも日常に結びつく内容だったので関連付けて考えると理解しやすかった。

### ●特講・福祉心理学18(人間関係におけるケアと暴力) 相馬 敏彦

- ・DVを防ぐための具体的な取り組みについて、若年層への啓発活動やDVや虐待行為についての世間一般の知識を拡充することは、とても重要であると思った。
- ・DVに関して研究にもとづいたデータで理解がしやすかったです。社会に働きかけるためには科学的データがいかに大切か、がよく理解できました。